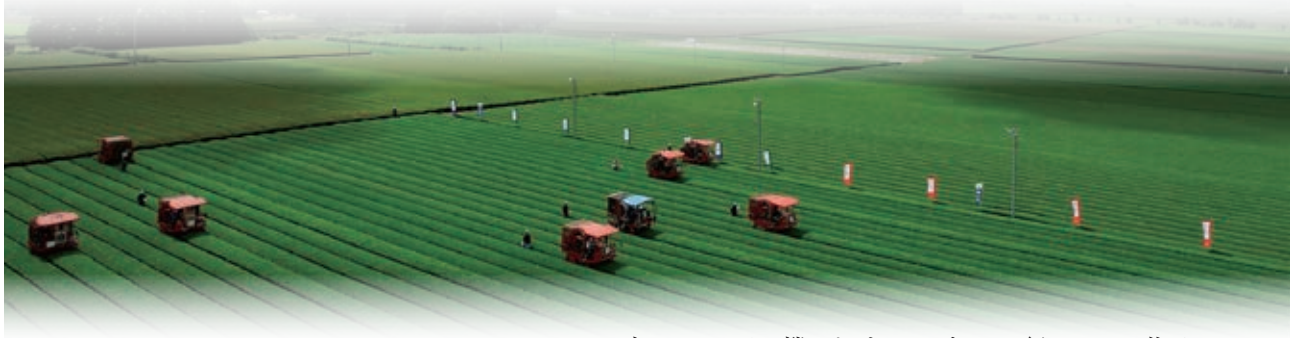




～茶摘採の技術を競う～

第16回 乗用型茶摘採競技大会開催



7月29日、汐見原茶団地で第16回乗用型茶摘採競技大会が市内の茶工場から選抜された8工場出場のもと開催されました。

この競技会は、南九州市の名物行事で、全国でも類をみないことから、当日は、多くの報道関係者も取材に駆け付けました。

摘み取りは、機械を操作する人と、補助者の二人一組で、速さだけでなく、摘み取り面の均一度や、機械の整備状況、服装なども採点されます。

出場者は、摘採の精度や安全面に細心の注意を払いながら技術の高さを披露しました。

最優秀技術賞（有）知覧岳製茶
優秀技術賞（農）北嶺茶業組合



【南薩医師会会長賞】
大丸小学校 4年 桐木平 爽さん



【南薩医師会会長賞】
知覧中学校 3年 切通 小鈴さん

「歯の衛生週間」

よい歯元気いっぱい 図画・ポスターコンクール

「歯の衛生週間」にちなんで、口腔保健に関する理解を深めるための一環として、毎年南薩歯科医師会の主催で「よい歯元気いっぱい 図画・ポスターコンクール」が、開催されています。

本年度も、南九州市内の小学校から計830人の参加がありました。

南九州市・南さつま市合わせた作品の中から、最高賞の南薩歯科医師会会長賞に大丸小学校4年桐木平爽さんと知覧中学校3年切通小鈴さんの作品が選ばれました。他特別賞の受賞者は、下のとおりです。

受賞名	学校名	学年	名前
南九州市長賞	九玉小学校	6年	前村 真緒
南九州市長賞	松山小学校	1年	田之上 音羽
南九州市教育長賞	知覧小学校	1年	塗木 想大
南九州市教育長賞	松山小学校	5年	菊永 朝陽
知覧ライオンズクラブ賞	中福良小学校	1年	簗原 秀信
川辺ライオンズクラブ賞	勝目小学校	3年	水溜 貴悟

(敬称略)



～鹿児島県消防救助技術指導会で1位～

全国消防救助技術大会に出場決定



5月23日に鹿児島県消防学校で第45回鹿児島県消防救助技術指導会が開催されました。指宿南九州消防組合を代表して南九州消防署の徳永博一士長が、ロープブリッジ渡過競技に出場し1位となり、8月25日に北海道で開催される第51回全国消防救助技術大会に鹿児島県代表として出場することになりました。

徳永士長は、「全国各地の代表選手と競い合う絶好のチャンスです。本番では持てる力をすべて出し切りたい」と力強く話しました。

～農事組合法人たべた～

田んぼアートの田植え



7月1日、川辺町田部田で田んぼアートのための田植えが開催されました。田んぼをキャンバスに見立て、色の異なる稲を使って毎年さまざまな図柄を描く田んぼアート。大雨の中でしたが、地域の方々や川辺小学校児童など多くの参加がありました。

今年のテーマは「川辺小学校創立150周年」と「かごしま国体」です。例年8月中が見頃となります。

田植えの参加者らは、「順調に稲が成長して欲しい」と、田んぼのキャンバスにアートが出現するのを楽しみにしている様子でした。

～飯倉神社～

御田植祭りが開催



7月2日、川辺地域の飯倉神社で、御田植祭りが開催されました。

昨年までの3年間は、新型コロナ禍のため神事みの開催でしたが、今回は4年ぶりに松崎自治会による棒踊りや田の神舞の奉納、御神木前での神事や田植えなどが行われました。

当日の午前中は激しい雨が降りましたが、祭が始まる前には雨が上がり、市内外から訪れた多くの観客が、祭りに見入っていました。

～ふうりんの小径～

薩南工業高校生徒がふうりんを製作



7月22日から8月31日の期間で開催される「第4回南九州市ふうりんの小径」に合わせ、6月16日に薩南工業高校の生徒らが、独自の技巧で金属を加工し、ふうりんを製作しました。

微妙な薄さの違いで変化する音色に、悪戦苦闘しながら、生徒らは真剣な眼差しで製作に没頭していました。

情報技術科3年牧田零侍さんは、「初めてのことで、心配だったけど、楽しみながら作業できた。いい経験になった」と話しました。



～南九州市観光協会～

「となりマッチ」テレビ番組で勝利！



6月7日、BSよしもとの生中継番組「となりマッチ」に、一般社団法人南九州市観光協会が出演し、阿久根市とのPR合戦を行いました。

グルメ、観光、祭りの3ジャンルで熱戦を繰り広げた結果、南九州市が勝利をおさめました。

出演した西山英一さんは、「芸人さんとの絡みを交えて面白く南九州市をアピールできた」と満足した様子でした。

番組の様子は、YouTubeでも配信されています。

～颯娃中野球部に漁網寄贈～

市内漁師が母校を応援



本市で漁業を営む田口徹夫さんが、母校の颯娃中学校を応援するため、野球部に漁網を寄贈されました。

それまでバッティングゲージにネットが張られていなかったため、練習環境を整えようと保護者会が使わなくなった漁網の提供を呼び掛けたところ、卒業生の田口さんが寄贈を申し出たものです。

部員らは、「漁網を張ったバッティングゲージを活用し、効率よく安全に打撃練習や投球練習ができる」と、田口さんに感謝の思いを伝えました。

～社会福祉法人 緑が丘福祉会～

こばとこども園落成式



こばとこども園の新園舎完成に伴い、6月25日に落成式・祝賀会が行われました。新園舎は、室内はもとよりウッドデッキのスペースも広く、木の温もりのある明るく開放的な園舎となっています。

祝賀会では5歳児による鼓隊の演奏やお遊戯、体操、先生と一緒にとなった合唱などで式典に花を添えました。

室屋徹理事長は「子どもたちの心身とも健やかな成長のため力を尽くし、地域に根ざした認定こども園を目指していきたい」と話しました。

～観光客をおもてなし～

新茶のふるまいと特産品販売



5月20・21日、6月17・18日に、旅行会社の新幹線貸切ツアーで、約600人の観光客が南九州市を訪れたことから、商工観光課と観光協会が新茶のふるまいや特産品販売を行いました。

新茶のふるまいでは、多くのお客さまが「おいしい」と笑顔を見せ、お土産を次々と購入していました。

市観光協会の梅木康博会長は、「コロナが落ち着き、観光客が戻ってきたことを実感しました。直接お客さまのお声を聞きながらのおもてなしは、身の引き締まる思いがしました」と充実した様子でした。



～小学生がヒラメを放流～

石垣港で水産体験学習



九玉小学校、別府小学校、宮脇小学校の児童47人が、石垣港での水産体験学習に参加しました。

鹿児島水産高校海洋科栽培工学コースの3年生16人が先生となり、ヒラメの稚魚の放流や鹿児島の水産業についての学習などを行いました。

児童らは、普段見ることのないヒラメの稚魚をじっくりと観察したり、気になることを質問して、自然環境の素晴しさや資源の大切さについて学びを深めました。

～“社会を明るくする運動”メッセージ伝達～

立ち直りを支える地域のチカラ



南九州市保護司会は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な地域社会を築くため、犯罪予防の啓発運動として“社会を明るくする運動”などに取り組んでいます。

7月は社会を明るくする運動の強調月間で、7月3日に南九州市保護司会代表者から市長へ内閣総理大臣と県知事のメッセージが伝達されました。

～消費生活出前講座～

消費者トラブルに気を付けよう！



5月22日、社会福祉協議会知覧支所で消費生活出前講座が開催されました。

消費生活相談員が最近の消費者トラブルについて事例と対策を紹介しました。参加者は熱心に聞き、「いりません」と実際に声を出しながら、はっきり断る練習を行いました。

消費生活センターでは、講座を受けたい自治会や団体に出張しますので、希望される方はお気軽にお問い合わせください。

～本で心豊かに 栗ヶ窪小学校～

図書委員会による読書集会



6月5日、栗ヶ窪小学校で全校児童が参加して「読書集会」が開催されました。6人の図書委員が計画、準備し、大型絵本の読み聞かせや、本の紹介などを行いました。参加した児童からも「もっと本が好きになった」「図書委員が昼休みもがんばって準備していたのがすごい」などの感想が発表されました。

図書委員長の盛迫大聖さんは「会が盛り上がってよかった」と喜んでいました。

吉満昭代校長は、「図書室は第二の教室、たくさん学んで心を豊かに」と話しました。